

はじめてみよう 園芸福祉

* 園芸福祉の活動とは *

花や野菜を育てて、みんなで幸せになろう。一言でいえば、これが園芸福祉の活動です。青空のもと、地域の様々な場所で営まれる植物の種子～発芽～成長～開花～結実～収穫というプロセスに幅広い年代の人々が参加して、植物と接し栽培する楽しみや喜びを共有することが園芸福祉活動です。



市の事業の一環として
(三重県名張市・いなべ市)

地域の誰もが参加できる活動です

地域に暮らす様々な人たちが、同じ立場で参加して、植物を通じた多彩な活動を展開しています。



仲間をつくり

都市・農村住民など
多彩な人達

植物と共に

花・果物・野菜
その他のみどり

楽しく過ごす

栽培・育成、配植・配置
交換・交流、管理・運営
などの活動を通して

みんなで幸せになろうという、
思想、技術、運動、実践

* 全国で多彩な園芸福祉活動が展開されています。*

園芸福祉の活動は、家庭ばかりでなく近隣や地域社会のなかで、人々と交流しながら、楽しい時間の過ごし方や、それを体感できる場所や空間を作りあげていく活動です。全国各地で初級園芸福祉士を中心に地域にあわせた様々な活動が始まっています。



高齢者施設の入所者と一緒に
(島根県邑南市)



都市の子供が農に親しむ
(千葉県浦安市)



地元企業と連携して(静岡県静岡市)



病院の中庭のなかで
(岐阜県多治見市)

商店街の美化と活性化に向けて
(新潟県新潟市)



世代間交流に向けた福祉農園で
(長崎県長崎市)



保育園活動のなかで(大阪府高槻市)

＊ 園芸福祉活動には様々な分野と可能性があります。 ＊



代替治療の分野から環境保全や地域・街づくり、さらに、情操教育や生涯学習、高齢者や障害者福祉まで、幅広い分野で園芸福祉活動が展開されています。

地域自治体・団体と連携しての活動も進んでいます。

園芸福祉の実践活動を地域に根付かせていく動きは、自治体や団体と連携しての園芸福祉活動も進んでいます。



- 岐阜県：園芸福祉サポーター
- 福岡県：花のアドバイザー
- 長野県駒ヶ根市：花と緑のサポーター
- J A 広島中央会：デイサービス事業
- 日本橋ロータリークラブ：社会奉仕活動

植物の持つ8つの効果・効用：「園芸福祉のすすめ」より

- 1 生産的効用 栽培での達成感や自信、意欲をもたらす。
- 2 経済的効用 自給や生産・販売での経済的利益をもたらす。
- 3 環境的効用 地域の物理的な環境条件を快適にする。
- 4 心理的・生理的効用 五感を通して心の充足が得られる。
- 5 社会的効用 植物を通じた活動で人間関係が円滑になる。
- 6 教育的効用 「育てる」ことで多面的効果を教えられる。
- 7 身体的効用 疾病予防的側面と運動機能的側面がある。
- 8 精神的(人間的)効用 働きがいや生きがいを生む。

＊ 日本園芸福祉普及協会が活動を支援しています。 ＊

日本園芸福祉普及協会（会長：進士五十八東京農業大学教授・前学長）は、2001年4月に設立、2002年4月にNPO法人化、園芸福祉活動の普及に向けて全国で多彩な活動を展開しています。

◆ 普及・啓発関連の活動

- ・園芸福祉全国大会の開催
- ・シンポジウム・フォローアップ研修会の開催

◆ 人材育成関連の活動

- ・初級園芸福祉士養成講座
- ・初級園芸福祉士資格認定制度

◆ 調査・研究関連の活動

- ・生活者動向調査・受託調査

◆ 広報関連の活動

- ・会報「園芸福祉NOW」など



第5回園芸福祉全国大会(福岡県)

全国47都道府県で約4,000名が活動

地域のなかで園芸福祉の実践活動を普及するための人材育成を目的とした初級園芸福祉士養成講座は、全国各地で開催しており、これまでに約5,000名以上が受講。資格登録をした「初級園芸福祉士」は、全国47都道府県で、約4,000名が活動を始めています。



NPO法人 日本園芸福祉普及協会 事務局

Japan Horticultural Well-being Association
〒162-0063 東京都新宿区市谷薬王寺町 58-204
TEL 03-3266-0666 FAX 03-3266-0667
E-mail kyokukai@engeifukusi.com
URL http://www.engeifukusi.com

〈地域事務局〉



JHWA